

追悼・平岩弓枝さん

期間：2023年6月23日（金）～8月23日（水）



2023年6月9日に逝去された福井ゆかりの作家・平岩弓枝さんを追悼し、その業績を紹介합니다。

項番	作家名	種別	資料名	発行年	発行者
1	平岩弓枝	自筆資料	色紙「どんなちいさな草にも花が咲く」	2014年	—
2	平岩弓枝	書籍	『私の履歴書』	2008年	文藝春秋
3	—	雑誌	『文藝春秋』83巻2号 (平岩弓枝「福井空襲その一日」掲載)	2005年	文藝春秋
4	平岩弓枝	書籍	『女の河』上	1977年	文藝春秋
5	平岩弓枝	書籍	『女の河』下	1977年	文藝春秋
6	平岩弓枝	映像	日本近代文学館「声のライブラリー」第55回・『新・御宿かわせみ 第二篇 華族夫人の忘れもの』自作朗読部分	2008年	—

平岩弓枝 略歴

1932年、東京生まれ。1945年春、母親の出身地である福井県の旧上志比村（現・永平寺町）に疎開し、福井市立高等女学校（現・福井商業高校）に通った。日本女子大学文学部を卒業後、戸川幸夫に師事。1959年「鑿師（たがねし）」で直木賞を受賞。

その後、戯曲や舞台、テレビドラマの脚本など多彩な分野で注目され、1979年NHK放送文化賞、1987年菊田一夫演劇大賞、1991年吉川英治文学賞、1998年に菊池寛賞を受賞。2016年に文化勲章を受章した。主な著書に『女の河』、「御宿かわせみ」、「はやぶさ新八御用帳」シリーズなどがある。